



平成 25 年 12 月 20 日

各 位

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷四丁目 3 番 25 号  
会 社 名 A G S 株 式 会 社  
代 表 者 名 代表取締役社長 小川 修 一  
(コード番号：3648 東証第二部)  
問 合 せ 先 企 画 部 長 及 川 和 裕  
(TEL. 048-825-6079)

## 政府中央防災会議の作業部会が公表した首都直下地震の新たな被害想定に関連して

平成 25 年 12 月 19 日に政府の中央防災会議の作業部会が首都直下地震の新たな被害想定に関する発表において、AGS株式会社（本社：さいたま市浦和区、代表取締役社長 小川修一 東証二部上場 証券コード：3648）のデータセンターがあります埼玉県さいたま市の震度については、「最大 6 強」と想定されております。当社データセンター（さいたまデータセンター）の免震性能は、震度 6 強～7 の地震を、震度 5 弱～5 強程度に減じる設計で、これはサーバ室に壊滅的な影響を与えないことを目的とした設定となっております。これによりお客様は安心してサーバやデータを当社データセンターにお預けることができます。

### ■当社データセンター耐震免震性能（さいたまデータセンター）

- (1) 免震ビル（二次免震）とし、大規模地震に見舞われても建物への影響はほとんど無く、データセンタービルとしての基本機能が維持できる堅牢性を実現しております。
- (2) 免震性能は、「当地域で、極めてまれに発生する大地震」に対し、顧客サーバの壊滅的な影響を回避する性能レベルとなっております。地震動レベルは土木学会の提言に基く震度 6 強～7（神戸大震災、東日本大震災クラスの地震動）に対して建物（1 階～R 階）は、1 5 0 g a l 以下に減衰し、サーバ室（3・4 階）のフリーアクセスフロア面で、2 5 0 g a l 以下に減衰することで、顧客サーバへの壊滅的な影響を回避する性能を確保しております。
- (3) 免震構造は、建物基礎部と上部構造の間にアイソレータ（免震装置＝免震ピット）を設置することで、地震の震動エネルギーを直接建物に伝えないようにした構造形式となっております。建物の強度を増して地震に対抗しようとする「耐震構造」に対して、地震入力を低減することで、地震に対する安全性を確保する構造となっております。

■データセンターの詳細については、当社ホームページをご参照ください。

<http://www.saitama-idc.jp/>

【当社の概要】

名 称 : A G S株式会社

代 表 者 : 代表取締役社長 小川 修一

所 在 地 : 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷 4-3-25

設 立 : 1971年7月

資 本 金 : 1,398百万円

主な事業 : 情報処理サービス、ソフトウェア開発、その他情報サービス、システム機器販売

URL : <http://www.ags.co.jp/>

【データセンターに関するお問い合わせ先】

A G S株式会社 事業推進本部 クラウドビジネス推進室

TEL. 048-677-6637 e-mail [ags.ml@ags.co.jp](mailto:ags.ml@ags.co.jp)

【お知らせに関するお問い合わせ先】

A G S株式会社 企画部 経営管理グループ

TEL. 048-825-5975

以 上